



No. 298

令和4年3月1日

トピックス ～ 「令和4年度税制改正」 ～

令和4年度の税制改正大綱がすでに決定され、参議院で審議されているところです。今号では、令和4年度税制改正のうちの主要な部分及び補助金につき、その概要についてご案内します。詳しくは当事務所にお尋ねください。

(1) 雇用者給与等支給額増加税額控除制度

中小企業における所得拡大促進税制について、税額控除率の上乗せ措置を見直したうえ、1年延長されます。この結果、最大で、40%の税額控除を受けることができます。

	改正前		改正後	
基本	雇用者全体の給与総額 対前年比増加割合が1.5%以上 →増加額の15%を税額控除		改正無し	
上乗せ加算	① 雇用者全体の給与総額が対前年比2.5%以上増加	10%加算	① 雇用者全体の給与総額が対前年比2.5%以上増加	15%加算
	② 適用年度の教育訓練費の額が対前年比10%以上増加		② 適用年度の教育訓練費の額が対前年比10%以上増加	10%加算

(2) 赤字の中小企業向け貸上げ支援（補助金）

○ものづくり・商業・サービス補助金

- 赤字など業況が厳しい中でも、貸上げ等に取り組む中小企業向けに特別枠を創設し、優先採択や補助率引上げを行います（最大1,250万円、補助率2/3）。
- グリーン・デジタル分野への取組に対する特別枠を創設し、補助率や上限額を引き上げます（最大1,250万円、補助率2/3）。

○持続化補助金

- 赤字など業況が厳しい中でも、貸上げ等に取り組む事業者や、事業規模の拡大に取り組む事業者向けに特別枠を創設し、補助率や上限額を引き上げます。
- 後継ぎ候補者が実施する新たな取組や創業を支援する特別枠、インボイス発行事業者に転換する場合の環境変化への対応を支援する特別枠を創設し、上限額を引き上げます。

(3) 少額減価償却資産の特例

○中小企業者等が30万円未満の減価償却資産を取得した場合、合計300万円までを限度に、即時償却（全額損金算入）することが可能です。

	取得価額	償却方法
中小企業者等	30万円未満	全額損金算入 (即時償却)
全ての事業者	20万円未満	3年で均等償却 残存価額 0円
	10万円未満	全額損金算入 (即時償却)

← 合計300万円まで

改正の概要

- 貸付（主要な事業として行われるものを除く）の用に供する資産が除かれます。
- 償却資産の管理などの事務負担の軽減、事務処理能力・事務効率の向上を図るため、本制度の適用期限が2年間延長されます。

2月は逃げる、とも言うように、あっという間に一か月が過ぎてしまいました。28日と短いうえに祝日が2日もあって、確定申告時期の真っ只中にある会計事務所泣かせの月といえます。とはいえ、三寒四温という表現がぴったりの季節となっております。今年は例年に比べて強い寒気団が居座り、真冬なみの冷気に包まれる日々が続いておりましたが、3月の声を聞くと流石に春を予感させる陽光が目心地良く、隣の畑ではようやく梅の花が満開を迎えております。そして、全国各地からの桜の開花予想も待ち遠しくなっている今日この頃です。

オミクロン型のコロナの影響が身近に迫ってきており、関与先でも社員に陽性反応が出たり、お子さんが濃厚接触者となって自宅待機を余儀なくされたり、という話もちらほらと伝わってきております。幸いにして、小生は3回目の接種が先月早々順調に終わりました。今は抗体能力が最高度に達しているようですので、この繁忙期もコロナを気にすることなく確定申告事務に専念できております。事務所職員もこれから順調に接種が進んで、仕事に影響が及ぶことを心配する必要がないという展開になっていくことを願うばかりです。まん延防止等重点措置も今週中に解除されるのか微妙ですが、全国的には新規感染者数は高止まりから徐々に減少に転じている傾向を見せ、飲み薬としての治療薬が普及していくことになれば、季節性のインフルエンザ並みの警戒度に舵を切ることも現実的な選択肢になっていくことでしょう（かなり希望的観測が含まれておりますが）。とはいえ、3・4月は卒業・入学、就職や旅行等と人の移動が多くなる季節要因に加え、外出自粛の緩和で三密が広がることになれば、新たな感染拡大のきっかけになりかねません。まん延防止等重点措置の解除に気を緩めることなく、手指消毒、うがい等、今まで通りの感染予防対策を着実に実行していきたいものです。

一方、オリンピックという平和の祭典の余韻がさめやらないにもかかわらず、その閉幕を待っていたかのように、ロシアがウクライナに全面的に侵攻しております。これほど乱暴な、世論を無視した暴挙は許されるものではありませんし、社会主義・共産主義の理念を一顧だにせず、帝政時代の大国意識むき出しの、あるいは、その再現を目論む軍事行動は短期的な成果・成功はともかく、いずれはロシア共和国の衰退の道へのきっかけになるのではと推測されるどころです。確かに現実の国際社会は民主主義の価値観を理念とする、いわゆる自由主義国家陣営の旗色は振るわず、却って強権が支配する権威主義国家の方が統治の論理としては優勢な傾向が感じられる今日この頃ではあります。その意味で、今後における中国の動向こそが大いに注視していかなければならない、ということが内外の軍事・政治の専門家サイドでは喧伝されております。ロシアが先行して、やったもんが勝ちという展開になれば、中国が尖閣諸島や台湾への軍事的挑発行動の誘惑にかられない、という保証はどこにもありません。欧米とロシアの駆け引きを睨みつつ、レフリー役を果たすことで世界における指導的地位をアメリカにとって代わるという野心が満たされるかもしれません。加えて、ここ10数年に亘り軍備の増強を飛躍的に進めてきた習近平国家主席が発する、今秋の党大会で異例の3期目の就任を視野に入れた強気の言動がもたらす影響は欧州以上に日本を取り巻く極東情勢の緊張に大いに波紋をもたらすことでしょう。

《和奏・遼真通信》

和奏は、この3日にいよいよ卒業式を迎え、来週には高校受験という大きなイベントが目白押しです。どうやら、自転車通学圏内の学校は避けたようです（余りに近いと、友達と仲良くなれるチャンスが少なそうな点も気にしているとのこと）。その点を含め、地下鉄を利用した通学気分を味わいたいという気持ちも良くわかります。体調を崩すことなく、この3年間で学んだ学力を遺憾なく発揮できることを願うばかりです。一方、遼真はコロナにより2度に亘る学級閉鎖にあいながらも、本人は幸にして元気に登校しているようです。自宅待機中は習い事もお休みし、ばあばの監督?や遊び相手のお陰もあって、普段よりはのんびり過ごせたようで安堵しております。もっとも、時間があれば、学校から貸与されているタブレットパソコンを器用に使いこなし、プログラミングソフトでゲームを作成するのに熱中していて、姿勢や視力に悪影響がなければと心配するものの、パソコン音痴のじいじからすると羨ましいような、パソコンを自由に使いこなす現代っ子ぶりを発揮しております。

（令和4年3月1日 所長 橋本）

卒業
おめでとう!

